

- ・国連大学サステナビリティ高等研究所  
学位授与式
- ・UNU-IAS博士課程学生、  
豊田通商株式会社 表敬訪問
- ・JFUNU Peace Study Tour 2025

公益財団法人 国連大学協力会

〒150-8925 東京都渋谷区神宮前5-53-70

TEL 03-5467-1368 FAX 03-5467-1349

URL <http://www.jfunu.jp/> E-mail [jf@unu.edu](mailto:jf@unu.edu)

## 国連大学サステナビリティ高等研究所 学位授与式

2025年8月4日、国連大学サステナビリティ高等研究所 (UNU-IAS) 大学院プログラムの学位授与式が行われました。博士課程3名、修士課程6名の修了生がこの日新たな門出を迎えました。

修了生の内、国連大学協力会 (JFUNU) が支援しているJFScholarship for UNU奨学生は合計4名 (修士課程2名 (AFAQ, Muhammad (パキスタン)、ORIBE AGUILAR, Kitzia Irina (メキシコ))、博士課程2名 (BOADIE-AMPONG, Matthew (ガーナ)、BATSA, Anna Saakwor (ガーナ))。皆、晴れやかな笑顔で式典に臨んでいました。

JFUNU専務理事の匂坂克久から歌舞伎のシーンの描かれた団扇が記念品として修了生代表に手渡されました。また修了生からは、ご支援いただいているJFScholarship for UNU賛助会員の皆さまにThank you letterが手渡され、賛助会員の皆さまからは、学生に向けてお祝いと今後の活躍への期待の言葉が贈られました。



中央:チリツィ・マルワラ国連大学学長



匂坂克久専務理事から修了生代表へ記念品の授与

## 「Toyota Tsusho Scholarship for UNUをありがとう」 UNU-IAS博士課程学生、豊田通商株式会社を表敬訪問

修了式を1週間後に控えた2025年7月29日、Toyota Tsusho Scholarship for UNU奨学生であるUNU-IAS博士課程2年のBATSA, Anna Saakworさん (ガーナ) が、3年間の日本での学生生活を支えてくれた感謝の意を伝えるに、奨学金のスポンサーである豊田通商株式会社東京本社を訪問しました。

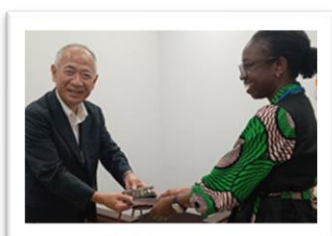
豊田通商株式会社の森畑明総務部長の温かい歓迎を受け、嬉しそうに握手を交わすと、3年間にわたり取り組んだ研究成果について報告をしました。

Annaさんは、当初は気候変動について研究するつもりでしたが、発展途上国においてはとくかく開発 (Development) が優先となってしまう、なぜ持続可能な社会が必要なのかという意識を教育のレベルで持たせることが重要だと、研究テーマをEducationに変更したことを説明。3年間の支援に対してお礼状を手渡し「1、2年働いて経験を積み、ガーナに戻って学校を設立したい」と今後の抱負を述べました。また、国連大学での生活にも触れ、「国連大学の大学院プログラムは、いろいろな国出身の学生が集まっており多様性に富んだ環境で勉学できた」と嬉しそうに話してくれました。

最後にAnnaさんがガーナ土産のチョコレートを手渡すと、豊田通商株式会社からも日本のお土産が渡され、「日本での修学に貢献できたことを嬉しく思います。帰国後、ますますご活躍されることを祈っています。卒業後もこのご縁を大切にしていきたいと思います。」とエールが贈られました。



豊田通商株式会社 森畑さんとAnnaさん



左からJFUNU匂坂、Annaさん、  
豊田通商株式会社森畑さん、UNU-IAS堀尾さん

# JFUNU Peace Study Tour 2025 - Hiroshima -

国連大学協力会では、国際相互理解の促進のため、世界各国から来日する国連大学サステナビリティ高等研究所大学院プログラムで学ぶ学生を対象に、日本文化体験の機会を提供しています。2025年7月17日から2泊3日で学生14名と被爆地広島を訪問し、全行程を広島大学の学生とともに過ごしました。

## Day 1

ラッシュで混雑する品川駅に集合。9時7分発の新幹線に乗り、広島へ。あいにく車窓から富士山は見ることはできませんでした。車内では、広島平和公園で奉納する折り鶴に挑戦。ささっと作れる学生もいれば、四苦八苦する学生もいたり、様々。出来上がった折り鶴は予め職員が用意したものにつなげて準備完了。



広島駅で降り立ったのち、広島大学東千田キャンパスで、大学院生との交流会を開催しました。広島大学の朝倉隆道特任准教授からは、同大学の紹介に加え、広島東洋カープやお好み焼を切り口とした広島市の紹介、また大学院博士課程の学生からは、学生が必ず受講する平和学習についてレクチャーを受けました。レクチャーの後は、グループに分かれ、ディスカッションが行われました。すぐに白熱した議論が各グループで展開され、あっという間に時間が過ぎていきました。



### \*学生の声

Her account of events was truly moving and the fact that it was a memory from 80 years ago, gave it a greater impact.

## Day 2



2日目は被爆者から直接講話を聴くことからスタート。核兵器がある以上平和は来ない、その恐ろしさを知ってもらいたいという被爆者の強い使命感にかられたその壮絶な講話の内容に、学生たちは、戦争とは、そして平和とは何か、深く考え込む様子でした。そして下欄\*のような感想を寄せてくれました。その後、広島平和記念資料館を見学しました。



午後はマツダミュージアム。マツダの歴史の紹介とともに、マツダの各年代の名車が並ぶ展示スペースに加え、実際の組立ての様子を見学しました。創業以来広島を拠点とし、戦後の広島の復興に重要な役割を果たしてきた企業としての矜持を学ぶことが出来ました。



その後、広島平和公園へ。原爆ドームを見学後、折り鶴を奉納しました。また、広島市のHPに掲載される平和へのメッセージにも投稿しました。

## Day 3

最終日は、世界遺産である厳島神社へ。フェリーで宮島に渡り、一路神社に。折りしも干潮の時間で鳥居の足元まで近寄ることが出来ました。神社内を見学後いったん解散し、各々宮島を散策。ランチを楽しんだり、水族館に行ったりと、思い思いに自由時間を過ごしました。その後再集合して広島駅に戻り、全日程を終えました。



### JFUNU Peace Study TourでSDGsに貢献!

今回のツアーでは、初めて「J-クレジット制度」を活用。移動や宿泊で生じたCO2 2,000 kgを実質ゼロにし、SDGsの目標7、13、17に貢献しました。



目標7: エネルギーをみんなに そしてクリーンに  
目標13: 気候変動に具体的な対策を  
目標17: パートナリシップで目標を達成しよう



無効化通知書



J-クレジット制度とは  
環境省HP

### 被爆者の講話を聴いて

Nuclear is never an option.

It was deeply moving to have the survivor share so much and so intimately! Definitely an experience that I will cherish for a long long time.